

第 28 回杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校設置懇談会(要旨)

会議名	第 28 回杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校設置懇談会
日 時	平成 26 年 12 月 17 日 (水) 午後 2 時～午後 4 時
場 所	和泉小学校 家庭科室
出席者	設置協議会委員 26 名 (欠席 4 名)
傍聴者	なし
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 施設整備について 2 学園歌について 3 地域資料コーナーの活用について 4 開校後の学校行事等 5 通学路について 6 設置懇談会の記録
資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 今後のスケジュール 2 グラウンド配置図、学童クラブ平面図 3 杉並和泉学園 学園歌 4 地域資料検討部会 (要旨) 5 杉並和泉学園開校の学校行事等 6 杉並和泉学園小学部 通学路・安全対策 7 設置懇談会記録

会長	<p>これから新泉・和泉地区小中一貫教育校設置懇談会、4 年半、第 28 回目となる最後の懇談会を開催いたします。</p> <p>本日の欠席は、宮川委員と江口委員は承っておりますが、ほかの方は恐らく少し遅れていらっしゃるかと思います。</p> <p>それでは、本日の配付資料の確認と会議の予定について事務局から説明をお願いいたします。</p>
計画調整担当 係長	<p>それでは、配付しています資料の確認をお願いいたします。</p> <p>(配付資料確認)</p> <p>本日の議題は、次第のとおり 1 から 6 までです。それから、冒頭に会長からご説</p>

	<p>明がありましたとおり、本日をもちまして設置懇談会は閉会という予定になってございますので、最後に委員の皆様方から一言ずつと考えております。</p> <p>配付資料と議題につきましては以上でございます。</p>
会長	<p>最後に、それぞれご感想をおっしゃっていただくこととなりますので、進行をなるべく早くしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、議題に入ります。</p> <p>議題1の「施設整備について」の説明をお願いします。</p>
学校整備課 教育施設計画 係主査	<p>それでは、資料1に基づいて、簡単に現在の工事の進捗状況と今後のスケジュールについてお話しさせていただきます。</p> <p>既に皆様方、ご覧になっていらっしゃるかと思いますが、小学部棟の校舎は躯体が既に完成しております。現在、中学部棟とともに内装の工事、外構の工事に取りかかっている状況です。12月末の建築工事の予定出来高は約84%ということで、3月の完成に向けて工事を進めているところです。</p> <p>工事も今のところ順調に進んでおりますが、一部、ラーニングセンターの図書エリアや、中学部棟の大アリーナのあたりに若干の遅れが出ております。3月18日に引き渡しを行うことになっておりますので、それが円滑に行えるように、施工者と工事監理と進捗状況について調整を図っているところです。</p> <p>3月末には引っ越しになります。卒業式が終わった段階から各学校と順次作業を進めまして、3月27日に職員室の機能を移転するような形で段取りを進めていきたいと思っております。</p> <p>それから、今年度中に和泉小の校舎の解体工事の業者を決めまして、来年度4月から着手できるように準備を進めます。資料では4月～6月となっておりますが、実際、施工業者が決まらないと細かいスケジュールが見えてこない部分もありますので、6月前後というふうに捉えていただければと思います。同じように、校庭や外構、学童クラブなどの増設工事を行う環境整備工事、こちらも業者が新年度になってから決まりますので、資料では7月から始まっておりますけれども、多少前後して工事の着工になるかと思っております。</p> <p>和泉小のほぼ敷地全体が校庭整備と外構工事の対象になります。通常的环境整備工事より少し規模が大きいものになるため、28年の3月いっぱいまで工期をとっております。どんな工事をどんな段階でいつやるかということについても、施工業者が決まった段階で細かく話を詰めて、学校とも調整をしながら進めていくことに</p>

	<p>なろうかと思います。</p> <p>簡単ではございますが、現在の工事の進捗状況、また、来年度の工事予定についてご説明をさせていただきました。ありがとうございました。</p>
会長	<p>では、進捗状況に関して何かご質問等ございますか。</p> <p>とにかく和泉中の3月19日の卒業式がとり行われるように、よろしく願いいたします。18日に引き渡されても無理ですから。</p>
学校整備課 教育施設計画 係主査	<p>これは何度も施工者と監理に話をしております。引き渡しは18日になりますが、準備も含めて調整しております。</p>
会長	<p>よろしく願います。</p>
委員	<p>外構工事、校庭の工事に関してお願いがあります。ここで設置懇談会が終わってしまいますので、外構工事についてはわからない部分があります。ですので、芝生、あるいは校庭に関して、校庭部会として意見を言わせていただきたいと思っています。今、GPやおやじの会の人たちとでまとめていますので、それを受け取っていただければと思っています。よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>では、外構工事関係はよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>芝生の工事に関しまして、今、東京都で小学校とか中学校の校庭芝生化事業として支援事業が実施されていて、施工費に対する補助金があつて、最新情報はちょっとわからないんですけども、少し前までの情報ですと、芝生ができた後に管理組織を立ち上げる学校に関しては100%の施工費の補助金が出ると。その後、3年間、維持管理の補助金も出るという制度がありましたが、その制度を今回の和泉学園の校庭整備工事で使用されるのでしょうか。また、その辺、制度的に最新の情報をご存じだったら教えていただきたいと思います。</p>
学校整備課 教育施設計画 係長	<p>おっしゃるとおり、補助金はそのとおりです。教育委員会からも東京都に手を挙げる旨はすでに伝えてありますので、補助金に関しては受ける方向で進めています。ですから、設置費については100%いただけるかと思います。維持費については3年間もらえますが、計算方法がありまして、維持費にかかったお金と、たしか平米単価が九百何十円掛ける平米で安いほうの補助金がもらえますが、多分その安いほうが九百何十円掛ける平米単価のほうなので、その補助金の額を3年間もらう予定でいます。よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>はい、ありがとうございます。</p>

会長	<p>それでは、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次に移りたいと思います。学童クラブの整備になります。</p>
児童青少年課 長	<p>よろしくお願ひいたします。</p> <p>昨年、敷地内に学童クラブを別棟で建設するというご報告をさせていただきました。場所についてはおおよそで説明してきたところでございますが、その設計内容について固まってまいりましたので、ご報告をさせていただきます。</p> <p>まず、資料2の表面のほうをご覧くださいまして、グラウンドにもともと予定されていた遊具、それから体育で使用することになっていた設備、こうしたところについては一切減ずることなく、校庭の一部に建てます。また、緊急車両が入りますので、消防用通路も幅を確保し、その2つをクリアする場所や形状を検討した結果、こういった鍵型の形で建設をしたいということでございます。定員は100名を予定してございます。</p> <p>裏面をご覧ください。中の図面です。学校開放用の受付、トイレ、倉庫も併設しています。図面の左側の鍵型になっている一番下の四角いところですが、この部分の右側にトイレが多くあるかと思いますが、4つトイレが並んでいる右側の壁で区画がわかれていまして、その右側が開放用のトイレ、詰め所、倉庫となっています。その区画の左側が学童クラブのトイレとなっており、水回りが集まった状態で、線引きがわかりづらいかもしれません。</p> <p>鍵形の真ん中に事務室を配置する形にしまして、育成室を事務室の上と下の2つに分けてございます。鍵形の一番下側にある入口から入って、下駄箱等、ランドセルロッカーがあって、第1育成室。カウンター等も整備した受付がその部屋の上にあります、その通路を通って奥に入ると第2育成室があります。</p> <p>平屋建てですが、外遊び空間の確保ということで屋上をつくります。この図面の右側のところが平面図ではなく、縦図になりますけれども、防球ネットをつけた屋上部をつくります。第1育成室の上部に整備する予定です。</p> <p>全体が概ね250平米ほどになります。屋上部は、160平米ほどの屋上庭園という形をつくります。</p> <p>私からは以上でございます。</p>
会長	<p>学童の件ですけれども、何かご質問はございますか。</p>
委員	<p>学童ではないんですけども、町会がここで節分祭や防災訓練をやるので、起震車と消防のはしご車が入れるようにしていただきたいですね。</p>

学校整備課 教育施設計画 係主査	資料2の表面の左上が、緊急車両の動線になります。ここからはかなり大きな車両が入れます。起震車等も十分入れる通路は確保しております。
委員	学童が定員100名ですよ。今現在、和泉小と新泉小で足りていますか。
児童青少年課 長	この別棟のものの定員が100名と申し上げました。現在、建設している新校舎内にも学童クラブが1つ入っています。そこが定員50名で設置しますので、全体で150名になります。今、和泉と新泉と2つあって、和泉小が定員は45名ですが、若干余裕を見て、47~48名が通っているかと思えます。それから、新泉小が80名ほどをお預かりするようにしていますが、例年、大体70名前後かと思えます。それを両方合わせて、さらに、この近隣の人口増とかも鑑みて、余裕を持って150名を想定しております。
委員	これからシグマの跡地のマンションですけれども、200足らずのマンションができるということだったり、増えることは確実のように思うんですね。その100とか50というのは、50のほうに入ったら50の人たちと一緒にいるということですか。
児童青少年課 長	運営そのものは、一体化をしていきたいと考えています。ただ、部屋が分かれていますので、受付場所とかについては分けていくことにはなると思いますが、育成時間中の交流とか、プログラムの内容などは一体的にやっつけようと考えています。
会長	よろしいでしょうか。ほかにございますか。 これは私からですが、幅跳びの砂場ね。両方の壁が差し迫って、前がどん詰まりになっているところに走り込むようになっているので、全国レベルの子が跳んでもちゃんと思いっきり走って跳べるようによろしくお願ひしたいと思ひます。 ほかにはよろしいですか。
委員	これから、児童館に預かる子どもたちが学校を利用するということをお聞きしたんですけれども、そういう将来的な部屋の確保がすごく心配です。
児童青少年課 長	放課後等居場所事業と呼んでいますが、児童館のいわゆる一般利用に当たる部分、こちらも学校内ということをして区全体の考え方として計画を出させていただひています。和泉に関しても、一貫校になるにあたってそうした取り組みをしていこうということでございます。学童クラブが入るのにあわせて、モデル事業として、取り組ませていただひこうと思ひています。具体的な場所については、今現在、決ま

	<p>ったものはありませんが、学童クラブがこれだけの広さを持っていますので、うまく活用したいと考えています。</p> <p>それから、モデル事業ということで、全面的にいきなり始めるのではなく、やれるところからスタートしようと考えています。区内で初めての小中一貫教育校ですので、まずその学校の運営が安定することが大前提となるかと思っておりますので、そこを見ていながら、モデル事業も計画的に進めていけたらと思っています。</p>
委員	<p>私が心配するのは同じ学園の子どもですので、この子が学童クラブだったり、この子が放課後等居場所というその区分け、どうやって見分けるのかなと思うんです。</p>
児童青少年課長	<p>やり方はいろいろですけれども、もう既にそういう取り組みが進んでいる区もあります。学校によってはアームリングをつけている子もいます。それから、名札を使っている場合もあります。それから、ビブスのようなものを着ている子もいます。目印になるものは、遠くからでもわかるもの、近くに行けばわかるもの、そういったものは一切関係なく、子どもたちの自覚に促していくもの、やり方はいろいろあると聞いています。</p> <p>学校のご事情もあると思います。ですので、基本的なルールは決めたいと思いますが、目印になるものが必要だろうという程度で、学校の実情に応じてやり方を少し工夫していくことも必要かと思っております。全部の学校で共通のルールでやりましょうということでは考えてはいません。ただ、区分けは必要と思っています。</p>
委員	<p>そうしたら、仮に支援本部が放課後居場所の申請をして行う場合、3通りの子どもたちがいるということになったりしますよね。</p>
児童青少年課長	<p>学校支援本部がやられる放課後子ども教室ですね。こちらと、今、児童館の一般利用に当たる部分というのは可能な限り融合を図っていきたくと思っています。児童館の職員も一緒に入れていただいて、子どもの育成という観点からいろいろご協力もさせていただきながら、一緒になってやっていけたらと思っています。</p>
会長	<p>それでは、よろしいでしょうか。</p> <p>では、続きまして、学園歌について事務局から説明をお願いします。</p>
計画調整担当係長	<p>次の議題は学園歌ですが、学園歌ができ上がりまして、和泉中学校の生徒の方々に録音していただいたものがありますが準備しておりますので、先に議題の3「地域資料コーナーの活用について」をお願いします。</p>
会長	<p>ということですので、3番の「地域資料コーナーの活用について」、事務局から</p>

	<p>お願いいたします。</p>
<p>計画調整担当 係長</p>	<p>資料4になります。</p> <p>11月6日に、第4回の地域資料検討部会を行いました。こちらでは、展示資料コーナーに設置します記録の映像と、展示資料コーナーのレイアウト、開校後の活用について、ご意見をいただきました。</p> <p>まず、記録の映像化についてですが、これまでの検討部会の中では、この映像化の中に余り地域の皆様が登場するのはどうだというようなご意見もあったのですが、制作者から、映像に少しアクセントを与えるために人物等を登場させて、インタビューを盛り込みたいという提案がありました。インタビューをもし使用してみてどうもよろしくないという状況であれば、その部分は削るとか、部分的に削除することも可能ですし、削除してナレーションや文字による説明も可能だということで、制作の段階ではインタビューを入れてという提案がございます。その提案について、そのように対応ができるならインタビューを入れてもいいというご意見がありました。</p> <p>また、このコーナーのレイアウトに関するのですが、こちらの場所は2階の小学校棟の図書室、ラーニングセンターの一角にあるということで、新しい校舎での中心的な部分になります。といったところから、この展示コーナーが、倉庫のようにならないように、開校すぐにすべてを展示しないで、開校後しばらくして、例えば2カ月、3カ月ぐらいしてからいろいろ展示をしていくということにしたいと考えております。開校時については教育委員会と学校のほうでレイアウトを検討していきます。その後、開校後のレイアウトについては、地域の方と学校とで調整をしながらしていくということです。</p> <p>次に、展示コーナーの活用に関するご意見ですが、開校後に地域支援本部に部会などを設けて、その部会と学校が調整をしながらレイアウトを検討し、映像化のデータの更新も含め、学校と地域支援本部とで連携をして活用していく必要があるということでした。</p> <p>地域資料検討部会については以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ご質問等ございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>インタビューのプランがありましたね。戦後のことについて誰か登場してもらって、地域を語るという。これは既にやったんですか。</p>

計画調整担当 係長	多分今やっているところだと思います。
委員	新泉小学校のほうで、数人収録しているようです。
会長	<p>それでは、よろしいですか。</p> <p>それでは、議題の4番目になります。「開放後の学校行事等」について、和泉小副校長からご説明いただけるそうです。</p>
和泉小副校長	<p>よろしくお願いたします。私からは、「杉並和泉学園開校の学校行事等」ということでお話をいたします。例年、3校が集まりまして、教職員で開校後の行事等についてどうしていくか、定期的に集まり、話し合いを重ね、準備を進めているところでございます。</p> <p>初めに学校行事についてですが、小学校と中学校が一緒の校舎になって小中一貫教育校になるということで、合同で行っていこうと話しております行事、また、個別に行っていこうということで準備をしている行事がございます。内容については資料5にあるとおりなんですけれども、入学式や卒業式という、節目、節目についてはきちんとそれぞれで実施をしていきます。また、小学校で実施をする学芸会、また、中学校で大変盛り上がりを見せる合唱コンクールというあたりについてはそれぞれで実施をしていこうということで現在準備しております。</p> <p>また、合同で行う行事につきましては、資料のとおりでございますが、平成27年度、このような形で実施をして、その状況等を踏まえ、また今後どうしていくのかということで考えていきたいと準備を進めております。</p> <p>続きまして、学年呼称についてです。小学校と中学校の学年呼称の重複が予想されるところでございますが、新校では小学校1年生から6年生、また、中学校の生徒については7年生から9年生という呼び方で進め、学園全体を1年生から9年生と呼称していきたいと考えております。</p> <p>次に、授業時間についてです。小学校は1時間の授業を45分間で進めておりますが、中学校は50分間でございます。小学校と中学校のこの5分の違いが時間割で違い、小学校には中休みという時間がありますが、中学校にはそういった時間がないというところで、時間割にはある意味ちょっと頭を悩ませているようなところはございます。しかしながら、小学校の45分、中学校の50分というこの時間を維持しまして、時間割などを工夫して、小学生と中学生が共存して1つの校舎、また、校庭、体育館で学習していけるように現在準備をしているところでございます。</p>

	<p>次に、交流授業・部活動への参加についてです。これまでもニュースレター等で3校で小学校と中学校での交流授業ですとか、小学生が中学校の部活動に参加して体験をした等々についてお知らせしてきたところでございます。開校後は同じ校舎になりますので、これまで以上にそういった内容を仕組んでいけるのではないかと準備を進めております。</p> <p>裏面に参ります。</p> <p>9年間を見通した教育ということで、2枚目の資料にもつけていただきましたが、小中一貫教育校の開校に向けて、小・中学校の9年間を見通した学習計画、学習シラバスで、皆様にもまた平成25年度改訂版等をお届けしてきたところだと思いますが、国語であればこの2枚目にあるような学習計画をこれまで教職員で話し合いを重ね、準備をして、作成してきたところでございます。</p> <p>今別紙で示しているのは国語ですけれども、こういったそれぞれの学年でどのような力を身につけさせていくのかということを確認にしまして、それぞれの学年での指導計画等を準備し、進めているところでございます。この内容についての実践的な部分が今後肉づきし、小中一貫教育校の充実につながっていくと考えているところでございます。</p> <p>私からは以上です。</p>
会長	<p>ご質問はございますか。ご意見等はよろしいでしょうか。</p> <p>来年度の大事な日程、開校式と落成式、祝賀会はお伝えください。</p>
和泉小副校長	<p>はい。開校式につきましては4月6日の午前中を予定しております。現在、その準備を進めているところでございます。</p>
学校支援課長	<p>資料1のところでございます。</p>
会長	<p>入学式の前ですから朝です。8時半とか、8時45分とか、そんな感じです。</p>
委員	<p>入学式と開校式は一緒なんですか。</p>
会長	<p>開校式の後、始業式。開校しないと始業式は当然できないので。恐らくそうだと思います。</p>
副会長	<p>校名の呼称についてですけれども、この資料5の中ほどに書いてあるとおり、「一般的に学園名を使用するため、杉並和泉学園小学部、中学部と呼称します」ということで、ぜひ統一をお願いしたいです。と申しますのは、教育委員会では結構分けて資料をお出しになっています。例えば「新泉和泉小学校」とか、「和泉中学校」とか、複数の課から出る資料について分けて出ていて、ちょっと混乱しているところ</p>

	<p>ろがあります。前々からいわゆる小学校名、中学校名は卒業証書で使う程度というお話があったと思うので、その辺の確認をお願いいたします。</p>
学校支援課長	<p>教育委員会の中に開校準備検討会というのがありまして、各課の課題を情報共有している会議がありますから、そこで取り上げたいと思います。</p>
会長	<p>今のことに関しては、済美教育センターは極力「杉並和泉学園」という言葉を使うということで話がついています。要するに学校名じゃないと通じないもの、まず公簿ですね。公簿と、ほかの学校とやりとりをするものに関しては学校名が入らないとまずいことになるので、そのあたりだけきちっとしていただいて、あとはもう極力この言葉を使っていただく。幾つかの課から出ているもので、直せるものにつきましては、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
委員	<p>入学式が4月6日ですね。これは中学校も小学校も一緒ですか。</p>
会長	<p>いえ、中学部は翌日、7日です。4月6日は開校式を行い、その後、始業式、小学部の入学式、翌日が中学部の入学式となります。</p> <p>それでは、5番の「通学路について」に移りたいと思います。</p>
計画調整担当係長	<p>資料6になります。前回の第27回の設置懇談会で、通学路と安全対策についてご提案申し上げたところ、部分的に危険箇所についてご指摘がございまして、その危険箇所について安全対策を今回施してございます。</p> <p>場所は、新泉小学校の西側からずっと北側のほうに専修大学附属高校の付近、ちょうど矢印がたくさん重なっているようなところで、「とまれ」という道路標示がありますが、現地を再確認したところ少し消えかかっておりますので、警察へ再塗装していただくように要請をしました。</p> <p>また、危険な交差点に赤とか緑色で、道路にカラー塗装がしてありますが、こちらのところにカラー塗装を入れてくれるように区の土木部へ要請をしました。こちらについては来年の3月までには対応するというので、警察と土木のほうから確認がとれております。</p> <p>前回の通学路の安全対策から追加した部分については以上です。</p> <p>また、通学路については、11月の末に懇談会ニュースを通して「新しい通学路が決まりました」ということで、地域の皆様に周知を図っているところです。12月中には学務課から新しい通学路について承認がおりる予定になってございます。</p> <p>杉並和泉学園の小学部の通学路と安全対策につきましては以上です。</p>
会長	<p>通学路の関係ですが、ご質問はございますか。</p>

委員	通学路ですが、仲通りが結構、甲州街道とか環七に抜ける車が、永福町から来ます。仲通りの時間制限とかはできないですか。
計画調整担当 係長	交通規制については警察の管轄になり、また、地域の方々の通行にも大きく影響していくと思います。通学路の部会ではそこまでのお話は出ませんでした。新しく通学路の安全対策として番屋橋のところに安全誘導員を配置することや、歩道の新設や移設で安全対策については対応しています。実際に開校して、さらに安全を講じる必要があるというようなことであれば、状況を見て、そのような交通規制を警察に働きかけはできるかと思います。
委員	例えば 30 キロのところは 20 キロに落としてもらうとかというのは。かなりのスピードで出てきます。
計画調整担当 係長	番屋橋のところは橋の幅員が狭くて、「とまれ」というのがあります。通学路の部会で点検しましたが、一時停止しているのを確認しています。
委員	あそここの橋は時々お巡りさんが隠れていて、止まらず行くと笛を持って自転車で追っかけていくから。
計画調整担当 係長	警察や土木の職員等と話したときに、警察の対応で弁天橋には「とまれ」の標識が設置できなかったんですが、新泉のほうから方南町に行くときに坂になっていて、どちらかというとも車よりも自転車のほうが止まらずに、そのまま突っ切っていくようなことがあったものですから、土木部のほうにこのカラー舗装とプラスして、道路の路面に凹凸をつけるような形で今要請をして、なるべくスピードが出ないような対応を依頼しているところでございます。
委員	弁天橋のところは橋の上は広がったけれども、方南町のほうから来て橋を渡ったら途端に狭くなるから。
計画調整担当 係長	向こうから来る分には視界が開けているのでそれほど危険ではないですが、こちら側から行くときは見えません。なので、少し危険でもあり、坂になっているので自転車の速度を抑制するために路面に凹凸をつけるよう要請しております。
会長	では、そういう対応をしているということで。進入禁止等はなかなか警察の関係があるし、地元の住民の方もあるので難しいということですね。
計画調整担当 係長	先程話ができました方南小学校寄りに大きな 174 世帯のマンションができたり、この地域はまたいろいろな形で戸建ての家ができていたりという状況もあるかと思えます。そのような状況によって交通の流れも違ってくると思いますので、今回の通学路についてはあくまでも現時点での通学路。それで、安全対策についても、必要

	<p>であればさらに安全を上げていくということは今回のご提案にプラスして必要かと思しますので、引き続き皆様方には通学路の安全性についてはご協力、ご支援いただければと思います。</p>
会長	<p>通学路関係はよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次は議題の6番、「設置懇談会の記録について」、事務局からご説明をお願いします。</p>
計画調整担当 係長	<p>設置懇談会記録を事前に皆様方へ郵送でお送りさせていただいております。</p> <p>そちらを1ページめくっていただきますと、目次になってございますが、大きなI番からVII番まで、ご検討いただいた課題について整理してございます。こちらについては、例えば同じ回で課題を2つご検討いただいた場合は課題の項目ごとに分けてございますので、記録のほうも「第10回設置懇談会」というのが何回か出てくるというような形でまとめてございます。</p> <p>また、今回お送りしましたのが本文です。この後に参考資料として目次がございます、校舎改築に関する検討結果のまとめだとか、これまで発行しました懇談会のニュース、委員の皆様方のこれまでの委員名簿等を参考資料としておつけします。</p> <p>また、設置懇談会につきましては、以前は「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会」という名称を、今年の4月に「設置懇談会」に名称を変更してございます。こちらの記録では「設置懇談会」という名称で統一して記載してございます。当時はまだ「設置協議会」という名称だったところも、「第1回設置懇談会」という形でまとめてございます。</p> <p>また、記録の中に、本日28回目の記録もとりあえず予定として書いてございます。本日、ご意見をちょうだいしましたところにつきましては、修正をして完成させていただきたいと思っています。</p> <p>また、大きなI番、「統合後の学校施設整備について」、II番目の「教育内容にかかわる基本的な考え方」につきましては、中間報告で既に報告をさせていただいているところなのですが、今回の記録に含めまして、まとめさせていただいております。</p> <p>では、大きなI番の「統合後の学校施設設備について」、1ページのところですが、「基本的な考え方」「計画概要」、次のページに行きまして、「計画規模」、基本設計からの規模になります。それから、下のほうに「完成予想図」が入ってございます。3ページ目に行きまして、「改築・改修スケジュール」。</p>

IVとしまして、ここから「検討経過」ということで、設置懇談会においてどうい
うご意見をいただいたのかというようなことが書かれております。第2回では、足
立区の小中一貫教育校の新田学園の視察、第4回では業者選定についてのご報告等
がございます。そのような形で、大きな課題の項目につきまして、検討内容、検討
結果、それぞれの回でどのようなことがご意見として出てきたのか、何が決まった
のかということ記録でまとめてございます。

12 ページのところは第 28 回設置懇談会で、「今後の工事のスケジュール及び学
童クラブの移設」ということで、若干議題の項目を修正しなければいけない部分で
すが、先ほどご意見があったものについてはここに追加をしていきたいと思ってお
ります。

次のページの 13 ページ以降、「教育内容にかかわる基本的な考え方について」、
先ほど和泉小副校長からご説明いただいた部分が第 28 回、15 ページから 16 ペ
ージにわたって記載してございます。

それから、大きな項目の「学校名と学園名について」が 17 ページからで、これ
が第 10 回から始まりまして、かなりの回を重ねて第 18 回までです。途中、アン
ケートの実施等を行って、そのアンケート調査の結果を盛り込みまして、24 ペ
ージに「学園名」「小学校名」「中学校名」と大きく太い四角で囲ってある部分で、こ
こで決定をしましたというところになってございます。

25 ページ、V 番目としまして「校歌と校章について」、第 20 回設置懇談会から
検討をいただき、第 27 回でデザイン案の 5 つの案から 1 つの案に絞ってきて、33
ページのような形になってございます。こちらについては、第 27 回、9 月の設置
懇談会でご決定いただいたのが C の 1 案だったのですが、その後、学校のほうと調
整をさせていただいて、第 27 回にもご意見がございましたが、この王冠の突起の
部分を 9 本にというご意見があり、王冠の部分が 9 本の突起になってございます。
こちらは小中一貫教育の 9 年間を象徴するということです。こちらに決まったこと
については既に皆様方に別途ご通知させていただいておりますが、33 ページのよう
な形で決まっております。

それから、後ほど学園歌についてはお聞きいただきますが、こちらも第 28 回で
確認していただいたというところになってございます。

34 ページから「標準服について」、36 ページで「標準服の導入（まとめ）」とし
まして、小学校の標準服については導入しない、中学校については和泉中学校の標

準服をそのままにすると決定しました。なお、ご意見として小学校の低学年や就学前の方からは小学校から導入してもいいのではないかというご意見もありました。統一感や連帯感というところで、小学校も標準服を導入してもいいということです。今回は小学校に導入しないことになりましたが、開校後に対応していただくことになってございます。

ちょっと余談ですが、開校式は4月6日の予定をしております。多分時間は8時45分ぐらいからという早い時間を予定しております。小学校の標準服は導入しないということで話が進んでいますが、今、教育委員会で考えている開校記念の記念品としまして、小学校1年生から9年生まで同じようなものを持っていただくと連帯感や統一感が出ると考え、バッグに「杉並和泉学園」というロゴと学園章を入れたらどうかと考えております。

続いて、37ページ、「通学路・通学区域について」、基本的に通学区域は現在の新泉小学校と和泉小学校を合わせた通学区域を小学部の通学区域にして、中学校はそのままとする。ただ、重なり合っていない部分の地域のお子さん方については、柔軟に対応します。例えば37ページに書いてあるAの地域ですと、小学校が新しい杉並和泉学園の小学部ですが、中学校は泉南中学校の通学区域になるというように、このA、B、Cの3つの地域がそれぞれ小学部と中学部の通学区域が一致しない地域です。この地域についてはどちらか選べるような柔軟な対応を当面、予定では平成33年までこのような取り扱いにしていこうという考え方です。それまでの間、目安としまして、平成30年ぐらいまでの就学状況を見て小学校と中学校の通学区域を一致させていくということ、また地域の皆様方にはご説明をしながら、通学区域については平成33年を目途に変更していきます。

この通学区域に基づき、通学路につきましてご検討をいただきました。夏の暑い時期に現地調査などもしていただいて、安全性や自動車の進入だとか、現地確認していただき、先ほど報告した通学区域と安全策を講じるということでご決定いただいたものです。41ページの第28回は、先ほど確認していただいた「通学路の安全対策」というところにつながっていきます。

42ページ、「地域資料コーナーの活用について」も、去年の5月からご検討いただきました。かなり難しい検討の内容になったと思いますが、3校の思い出をどのような形で新しい学校につなげていくのか。この地域資料コーナーが新しい学校での中心的な部分で、設計のコンセプトを見ますと、地域と学校をつなぐ、児童と生

	<p>徒をつなぐというコンセプトである場所に地域資料コーナーを配置しております。</p> <p>検討部会でご検討いただいたところ、今ある3校の展示品をすべて置いてしまうと、置ききれないものもあつたりとか、今学校にあるもので持ってこれないようなもの、壁にくっついていたり、原風景として門の脇にある桜の木だったり実物が残せないのであれば映像の記録で残そうということで、映像化するという進めてまいりました。単に映像化するだけでは面白くないので、学校の変遷の中でその当時の流行した遊びや給食も盛り込もうと。もっと欲張りになって、小学校3年生ぐらいに地域の歴史という学習の時間があるので、地域の歴史もその中に入れていこうというようなご意見もいただきまして、かなりのデータ、内容をその映像化の中に盛り込むこととしました。なお、映像化については、そこで歴史が終わりということではなくて、開校後も3校の歴史を引き継いでいくんだということで、データの更新もできるような形で映像化のソフト、プログラムを今組んでいただいているところでございます。</p> <p>レイアウトについては、先ほど申し上げましたように、中心的なところに位置して、図書室に行くときに必ず通らなければいけないという動線も踏まえて、物は余り置けない中で、必要最低限のものについては展示をして、映像化の映し出しをするパソコンを設置します。開校時は、暫定的に教育委員会と学校のほうで調整をしてレイアウトします。その後のレイアウトについては、変化がないと子どもたちに飽きられてしまうので、地域の方と学校とで協力してレイアウト変更、また映像化のデータの更新をお願いするというのを、先ほど申し上げたとおりでございます。</p> <p>雑駁でございますが、設置懇談会の記録につきましては以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、ご質問はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>ここは第28回ということで、公式には今日で一応終わりであり、なおかつ基本的なことはこれで決まったということなんですが、あるべき姿はこうかもしれませんが、実際として一つ一つの問題を見ると、運用的にいろんな問題が出てくると思います。その都度、いろんな角度で違うと思います。</p> <p>例えばこの間、支援本部の定例会で、これから小中一貫校に向けてさまざまな問題が出てくるだろうから、その段階で議題になり得るものは議題にしてということを行いましたけれども、でも、それだけではさばききれない、吸収しきれないことはあります。もうこれでおしまいとなると、いろんな解決できない問題をどこへど</p>

	う持っていったらいいか、持って行く場がなくなってしまうと思いますので、柔軟に考えていただきたいと思います。
学校支援課長	新校を4月に開校して、学校評議員会というものができると思います。その後、前もお話ししたように、杉並和泉学園は地域運営学校を設置し、そこで地域の方が校長先生と一緒に連帯して学校運営していく形になると思いますので、そちらのほうへいろいろとお話をいただければと思います。
会長	CSに移行することで、こういう大きな人数じゃないですけども、それぞれ意見を伺いながら決めていく形になると思います。 ほかにいかがでしょうか。
委員	次元の全然違う話ですけども、ちょっと聞き損ねたことがあります。この設備のところで、最近ちょっと人気がなくなった太陽光発電があります。大分前の新聞記事に荻窪小学校でソーラー発電の設備があるとなっていましたけれども、杉並和泉学園にはソーラー設備はありましたか。
学校整備課 教育施設計画 係主査	あります。太陽光パネルは小学部棟の屋上に設置いたします。場所は、小学部棟の南側のほうにあります。
委員	それは、理科の授業とか、大体そういったところに使うということですか。
学校整備課 教育施設計画 係主査	教育用のパソコンで見られるように調整しています。また、校舎内にモニターが設置されますので、子どもたちや来校された方が昇降口で今どれぐらい発電しているのか目で見えてわかるような仕組みになっています。
会長	よろしいでしょうか。ご意見はございますか。
委員	今、中学校にあった防災倉庫が児童館の隣に引っ越しています。あれはどこへ戻ってきますか。
学校整備課 教育施設計画 係主査	防災倉庫は来年度行う環境整備工事の中の外部建屋というものにおさまります。 新しいグラウンド内に逆L字型のような外部建屋ができて、芝生の倉庫や学校の校庭用の倉庫とともに、このL字の一角に防災倉庫ができます。また、地域の方々の防災倉庫もこちらに設置します。 中学部棟の南の端にも備蓄倉庫がございます。こちらは今年度中に整備ができますので、現在、3校分のものをどうしまっていくのか、来年度の外部建屋も含めて防災課が検討しております。

委員	要するに今まであったプールのほうにできるということね。
学校整備課 教育施設計画 係主査	本体は旧プール側にできます。もう一つ中学部棟の南側に備蓄倉庫もできます。
委員	<p>今、児童館のところに防災倉庫があって、中学校のものをみんな運び込んだのだけれども、所狭しと置いてある。それで、和泉小学校の一番向こうの角に、小さいけれどもポンプ小屋があります。それも今度なくなるでしょう。そうしたら、しようがないから川沿いに行って、鶴高のグラウンドの向こう側にもう一つポンプ小屋、C級ポンプが入っているところがあるけれども、多分あそこはそんなに使われていないから、あそこにここのものを一時持っていこうかという話をしているんです。</p> <p>ただ、向こうの防災倉庫は、後ろへひっくり返りかけているから、新しいのにしてくれと以前防災課長に言ったら、こっちだけは新しくなったんだけど、ドアは開かなくなっちゃう。できれば向こうも新しくしてもらえば、もうちょっと入る。ただ、高さが低いんですね。できるかどうか、うちのほうの防災会長が心配していたものですから。</p>
委員	この防災倉庫が2つ丸々できるということですがけれども、基本的にこれは震災が起きたときに地域が使うものが入っているということですよ。
学校整備課 教育施設計画 係主査	そうです。中身については防災課が準備します。
委員	<p>多分管轄は防災課だと思いますが、置き場所は学校なわけです。だから、その縦の流れをきちんと。前、防災課に個人的に聞きに行ったとき、ほとんど教育委員会のことと防災課が完全にばらばらでした。ですから、聞いたときにちゃんと通じるようにつながっていないと。一般地域住民としては、逃げ場とかもあるわけです。何かすごくそこら辺が曖昧になっていて、うまく教えてあげられないわけです。逃げるときは必ずここに逃げなきゃいけないわけではないけれども。そして、そこに何が置いてあるのかというのは、ぜひ町会長さん及び防災関係の人にきちんと伝えて、それが一般の人たちにちゃんとおりてくるように流れをつくっていただきたいです。一体何がどこにどう置いているかということをお願いします。</p>

学校整備課 教育施設計画 係主査	防災課としては、防災倉庫ができていない過渡期である平成 27 年度については、何を入れていくかは検討中だということです。本格設置になった後はきちっとスペースができますので、その中で何をしまっていくのか、何を地域の皆様方と一緒にいろいろできるのかということについては持ち帰ってきちっと話をしてみたいと思います。
委員	連携をとって、それがちゃんと町会におりてきて、訓練に生かしていくという流れをつくらないと。
学校整備課 教育施設計画 係主査	それも含めて話をさせていただければと思います。
会長	それでは、この懇談会資料の関係のことはよろしいでしょうか。
計画調整担当 係長	懇談会の記録につきましては郵送しまして、本日、概略をご説明申し上げたのですが、何かお気づきで、ここの部分はこう修正したほうがいいのかというようなご意見がございましたら、できましたら今月中ぐらいまでに事務局にご連絡いただければと思います。完成しましたら、また皆様方に完成版をお手元にお送りさせていただきたいと思います。よろしくお願ひします。
会長	懇談会の記録はよろしいでしょうか。 それでは、学園歌をお願いします。
計画調整担当 係長	用意ができました。学園歌について、資料 3 になってございます。 調布市立調布第七中学校の山崎先生につくっていただいて、楽譜が資料の 2 枚目以降に掲載しております。和泉中学校で録音してもらったテープです。
(学園歌視聴)	
会長	学園歌の披露ということですが、二部合唱になるようにつくってくださっていると思います。中学生には合唱にもなるということで、歌えるようになるかと思ひます。
委員	これは誰が歌っているんですか。
会長	これは和泉中の合唱部です。
計画調整担当 係長	来年の 4 月 6 日の開校式には、多分、小学校から中学校のお子さんたちが歌っていただけだと思います。大人数で歌うと、また違った、迫力のある歌になるのかなと思ひます。
会長	それぞれの校歌のバランスがとれているというか、あとは皆さんの思いが入って

	いる学園歌になったのではないかと思います。
計画調整担当 係長	<p>懇談会から要望を出しました「和泉」という文字については、1番も2番も言葉が入っています。また、お子さんたちからいただいたアンケート募集の中の言葉も「夢」、「輝く」、「友情」、たくさんの言葉が使われているなという印象がございます。</p> <p>学園歌につきましては以上です。</p>
会長	<p>それでは、学園歌についてはよろしいでしょうか。</p> <p>一応これで議題は終わりということで、初めに申し上げましたとおり、4年半、第28回のこの会を開き、学園名、学園歌、学園章も決まりました。皆様のご意見をちょうだいして、この会が進んでこれたのだと思います。</p> <p>先ほど委員からも話がありましたけれども、この後もぜひご協力、ご支援をいただきながら、来年の開校を目指して、開校後もよりよい学校になるようにご支援いただきたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>それでは、最後に一言ずつ委員の皆様から、懇談会はこれで終わりですけれども、ご感想をいただきたいと思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。</p>
委員	<p>皆さん、お疲れさまでした。最後にすごく晴れ晴れとした歌を聞いて、これだけ長くかかわってくると、やっぱり「やったな」と思います。でも、考えてみればこれからがスタートですので、具体的に問題が出てくるのはきっとこれからだと思われると思います。先生方も大変だと思いますけれども、陰ながら応援、バックアップさせていただきたいと思います。お疲れさまでございました。</p>
委員	<p>私は途中からこの懇談会に参加させていただきました。ちょうど校庭の設計をどうするかというところから加わらせていただいて、校庭部会で案をつくらせていただきました。和泉小学校の校庭の芝生は全国的に有名な施設で、今後、小中一貫教育校として新しい芝生で、新しいレイアウトで運営されていきまして、また全国からいろいろと見る目があると思いますが、どう評価されるのか楽しみな1つでもあります。</p> <p>実際に校庭の詳細設計はこれから行われると思いますが、それに向けても今の校庭の芝生の管理にかかわっているメンバーとして、今までの経験からいろいろまだアドバイスをさせていただければなと思いますので、役所の方も聞く耳を持っていただければ幸いです。以上です。</p>
委員	私も最初から携わらせていただきまして、本当に長くかかわったなと思っており

	<p>ます。本当に開校を目の前にする時期が来るのかなと思うと、いろんな思いはあります。でも、皆様でお話をしながら、いろんな意見が出ながらも、こういう形で1つにまとまってきたところに携わらせていただいて、本当にありがたかったなと思っています。</p> <p>初めてこの校歌を聞くと、まだなじみがないと思うんですけども、校歌がみんなになじんできたころにどんな学校になっているのか、地域の者として見守っていただけたいなと思っております。ありがとうございました。</p>
委員	<p>4年半、すごく長かったなと思います。終わればそんなにも思わないんですけども。先ほどこちらの記録を見ましたら、ああ、そうだったなと思うことがいっぱいありまして、中でも学校名、学園名、このときは私は本当に出たくない日々が続いておりました。ですけれども、新泉小学校のためには絶対言わなくてはいけないと思いながら頑張らせていただき、今思えばこれも皆さんで決めたことで、よかったかなと思います。周りの方は「長いんじゃないの」と言われたりもするんですけども、新泉小のあかしがあれば、新泉小を卒業した方々にもとても喜ばれることです。</p> <p>今この時期になって、「ありがとう新泉」という閉校式のようなものを行うんですけども、卒業した方々、地域におられる方、外におられる方々はそんなに意識なく、急にこの時期になって、ああ、なくなるという思いをいろいろお話しなされて、あれもあった、これもあったということを知ったりしました。本当にこの4カ月ぐらい、逆にもう新しい学校に期待を寄せすぎて、今はすごく楽しいことなんですけど、同時に、一生懸命頑張ってくださった小学校の校長先生、副校長先生がどうなるんだろうということをすごく心配しております。新しい学校になれば、小学校の校長先生がいなくなることは絶対的なことなので、歴代の今まで携わってくださった先生方にはお礼を申し上げたいと思います。</p> <p>楽しみにしておりました学園歌ですけれども、本当になじみがなくて、今初めて聞いて、これ、私たち歌えるかしらと思うぐらい心配しております。徐々に徐々になじんできて、子どもたちが日々歌ってくれたら、また新しい学校の始まりで、いい雰囲気になるんじゃないかなと楽しみにしております。寂しさと、また将来の希望、杉並で一番の学校になれるように地域が応援しなくてはいけないなと今思います。本当に長い間、ありがとうございました。皆さん方にいろんなことを申しましたが、ありがとうございました。</p>

委員	<p>この設置懇談会が4年何カ月ということですが、私にしたらくここまで来たかというのは、平成6年のときに主任児童員制度ができて、その主任児童員になったときに、3校いつも出させていただいていた。評議員も出たり、入学式、卒業式も。そのころは本当に3校それぞれ違いました。新泉小学校が廃校といううわさがちらほら出ていたときがありました。そうになってしまうのかしらと私も心配をしておりました。</p> <p>そのうちに小中一貫教育というのが始まりましたね。そのときに、これはいずれはそういう形になるのかなというのちょっと私の胸には去来してしまっていて、そのうちに今度、学校支援本部がこれまた3校で1つになった。これはいずれもう1つになる道なのかなとすごく思っていました。</p> <p>それから自然に徐々に徐々に、ばらばらだった3校の先生方が小中一貫教育というのを始めて、本当にいつも一緒に連携をとれて、皆さんがとてもいい関係になってきて、この立派な学校、ハード面が立派なものができます。その中にソフト面も備わってきて、来年4月を迎えるということで、自然にこうなってきたよかったです。私はすごく思っております。新校になってからどういうふうになっていくか、この地域の子どもたちを見守っていきたいという気持ちでいっぱいです。どうもお世話になりました。ありがとうございます。</p>
委員	<p>感無量というところでございます。考えてみると、この学校支援本部のスタッフでやってきましたが、学校支援本部ができてから数えても7年以上になるのだらうと思えますけれども、その間にいろんなことがありました。そして、この地域で学校支援本部を3校まとめてが初めてだとか言っているうちにこういう形になって、さっき委員さんが言ったような、小中一貫教育がスタートしましたけれども、こういう形に実際なってみると、やはり長い歴史を感じざるを得ません。</p> <p>そして、新しい校舎のベールがとられて、実際、目の前に迫ってまいりますと、本当に感動いたします。そういった意味で、この学園歌が口をついて出るように私も一生懸命練習したいと思えます。私も下手くそなピアノをやっていますので、ちょっと弾いて練習してみたいと思えます。本当にありがとうございました。</p>
委員	<p>いろいろと皆さんにはお世話になりました。皆さんの努力でここまでこぎ着けたことは、誠にうれしいことだと思います。これから先はこちらにいらっしゃる校長先生方の努力で、杉並一じゃなくて、日本一になるぐらいの立派な統一校を構築していただきたいと思います。ぜひよろしく願いいたします。以上です。</p>

委員	<p>僕の親父が大宮なんですね。僕が新泉なんですね。僕の子どもと孫が和泉なんですね。和泉ができたときに、台風でもって神田川があふれて、大分材木が流されたとか、いろいろ話がありました。</p> <p>それからまた中学校のほうでは、今、中学校の校舎は南側にあるけれども、もともとは神田川のほうにあったんですね。それを 20 年ぐらいで取り壊して今のところへ移ったから、水が出て、5, 6 年前ですか、9 月 4 日にこの学校の校庭で防災訓練をやったとき、その晩、すごい雨が降って、この裏にある防災倉庫の中まで水が入った。学校も床上浸水になって、今後どういうことになるのかなといろいろ考えていたんです。</p> <p>僕も新泉を出たといっても、学校の運営には余り携わったことがないし、自分の勉強でも、僕らが卒業したのがちょうど 6・3 制ができた次の年です。そのちょっと前、小学校 5 年生のときですか、漢字の読みが変わって、仮名の振り方が変わった。そういう時代にずっと勉強してきたものだから、時々孫たちに「じいちゃん、それ違うよ」と言われるんです。だけれども、これからの子どもがとにかく一生懸命やるためには、やっぱり周りの地域からのアドバイスとか、いろいろなものがあったほうがいいと思うので、その点はこの学校はすごくいいと思います。とにかくみんなが応援してくれる学校なので、これからも先行き本当にいい学校になると思います。本当にご苦労さまでした。</p>
委員	<p>この会には私は途中から入れていただいたんですが、今思うといろんな話題が出て、いろんな議論が出て、ぶつかり合うこともありましたけれども、それは皆さんがここの学校をよくしたいという情熱だったんじゃないかなと思います。いよいよ新しい学校が出発するなという実感が湧いてきましたけれども、今までここへ持ってくるために、3 校の先生方を初め、もちろん役所の方もですけれども、すごい努力をされて、いいほうに持ってきていただいたことに本当に感謝申し上げます。</p> <p>これから私たちも地域で見守る立場ではありますけれども、本当にいい学校に成長していくように応援したいと思います。どうぞよろしくお願いします。</p>
委員	<p>今年度 4 月からこの会にはかかわらせていただきました。これまでの 4 年半の記録を拝見すると、本当にたくさんの課題を行政の皆様、それから町会の皆様、地域の関係の方々、学校の先生方、多くの方々が時間をかけて一つ一つ検討してきてくださったんだなということがとてもよくわかりました。この新泉・和泉地区の子どもたちは本当に幸せだなと改めて思います。</p>

	<p>会は今日で終わりということですが、実際、学校が開校して教育活動が始まるのが4月以降ということで、子どもたちが毎日笑顔で楽しい学校生活を送れるように、一PTA保護者としてこれからもお手伝いのできたらと思います。ありがとうございました。</p>
委員	<p>私も4月から参加させていただきました。私自身が新泉小の卒業生で、和泉中学校も卒業いたしました。卒業生としての閉校の寂しさと、あと子どもが新校に通うということで、未来への期待と、本当に短い間でしたけれども、会に参加させていただいて、両方の面を皆様とともに過ごせたことがすごく今後にも役立っていくのかなと思っています。</p> <p>これからまた新校が始まって問題が出てきても、やはりこれだけ熱意のある方々が皆さん地域を見守ってくださって、保護者の方も本当に頑張っていこうという心のある方がたくさんいらっしゃるので、本当に今後楽しみです。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>私は昨年度から参加させていただいておりますけれども、私が来たときには学校名がちょうど決まったところで、一闘いの後というか、壁を乗り越えた後みたいな雰囲気があったんですけども、本当に皆さんが子どもたちのためにこれだけ時間をかけていただいて、話し合ってくださいているということで、保護者としてとてもありがたく思っております。</p> <p>現役保護者としては、新校に対する期待や不安などたくさん聞きますので、ぜひぜひよい学校にさせていただきたいと思っております。また期待をしております。皆様のご協力、今後ともよろしくようお願いいたします。</p>
委員	<p>この会は4月から参加させていただいたんですけども、4年半前から会が行われていたことは今日初めて知りまして、これまでの皆様の蓄積があって今日があるということを知って、すごくいろんなことを考えました。新校に向けては個人的には不安が大きいんですけども、設備や校舎などについて一緒に考えさせてもらうことで、新校に対しての期待はとても膨らんでいます。新校もよろしくようお願いいたします。</p>
委員	<p>私も4月からなので、1年足らずでしたが、現役保護者として少しでもこの懇談会に参加できて、新校に対してすごく期待が高まっています。これからもよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>私は昨年度からこちらの懇談会に出席させていただいております。懇談会を通</p>

	<p>しまして子どもたちが地域の皆さんに見守られながら育っているんだなということを感じることができました。地域の皆さんには今後とも子どもたちをお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>あと、現在、私の子どもたちがこの和泉小で本当に伸び伸びと元気に学ばせていただいております。新校になりましても、変わらず伸び伸びと元気に学んでいけるような環境であってほしいと願っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>私は、設置懇談会が始まった最初からいるんですけども、中2年ほどちょっと子どもの都合といいますか、子どもがどちらにもいなかったの、また今年から戻ってきたときにはすごくいろんなことが決まっていて、ああ、すごいなと思って。新校の名前が決まるときも端から見ている感じだったので、いたかったなとも思いましたし、皆さんがすごいご苦勞をされて、多分私がいなかった2年間が一番紛糾されたんじゃないかなと感じました。</p> <p>来年、新校が開校されるに当たって、またこれからも地域の皆様や学校の先生方にも子どもたちのことを見守っていただきたいと思います。私自身も来年も子どもたちのことをバックアップできるように頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>私は2年前から参加させていただきまして、学園章、学園歌、標準服、地域コーナーなどいろいろ決まってくさまを見させていただいて、ようやく小中一貫教育校がスタートするんだなとわくわくしたような楽しい気持ちでおります。</p> <p>今年でうちの子は卒業してしまうんですけども、これからは地域の元保護者として見守っていただけたいなと思っております。この1年間は、新泉小の校舎にお世話になりまして、子どもたちも多分愛着が出てきており、あそこで卒業式というのもいいのかな思いつつも、でも、できればぜひ新しい校舎の体育館で卒業式ができたらうれしいなと思っております。どうぞ工事のほうも事故のないように気をつけながら進めていただけて、間に合わせていただけたらうれしいなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。</p>
委員	<p>私は恐らく6回から参加させていただきました。その間、新泉小学校の地域保護者の方々の学校の気持ちと、新泉・和泉の地域の方々の新校への期待というのを感じながら、締めくくりとスタートの準備に加わらせていただいたこと、大変光栄に思います。</p>

	<p>私の教員としてのキャリアはこれからも続きますので、他の学校の副校長ではなかなか経験できないことをたくさんさせていただきました。この経験を東京都の子どもたちのために生かしていきたいなと思っております。どうもありがとうございました。</p>
委員	<p>私、校長として着任した学校が和泉小学校で、全くわからず来たら小中一貫教育校になるということで、すごい学校に来たなと思いました。こうやってかかわらせていただいて4年半ということで、ああ、4年も年をとっちゃったなと思いますけれども、でも、いろんな新しいことに向かっていくので、楽しかったなという思い出が強いです。</p> <p>和泉小学校がこれで閉校になります。55年の卒業生4,909人の思いを背負いながら、新しい学校に向かっていこうと。4年前に芝生化されて、東京都で初めてだった。今度は、小中一貫教育校においてあれだけの平米数の学校は他にないだろうと思っていますので、それをうまく育てていただいて、中学生もこのよさがわかる、小学生にももちろんわかるというところを全国に広げていける学校になりたいなと思っています。これだけの地域の方たちが支えてくださっているという力強さをすごく感じていますので、これは可能だろうと思っています。夢や希望を持って、子どもたちと閉校を迎え、次に向かいたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。</p>
委員	<p>私は昨年度着任をして、約1年半ちょっとかかわらせていただきました。4年半ということですので、その一部分しかこちらには在籍することができなかったなと思いましたが、皆様のお話を伺って、地域の皆様の小中一貫教育校への思いをひしひしと感ずることができました。</p> <p>和泉小としては残り3カ月、閉校への準備、そして、新校開校へ向けての準備をそういった地域の皆様の思いをしっかりと受けとめて、教職員にも伝え、今後一丸となってその準備を進めてまいりたいと思います。本日はどうもありがとうございました。</p>
副会長	<p>設置懇談会の委員の皆様、それから、教育委員会事務局の皆様には大変お世話になって、ありがとうございました。</p> <p>新泉小学校の子どもたちは新校開校を大変楽しみにしていますが、一抹の不安も持っています。その一抹の不安というのは、例えば5年生のある子がこう書きました。「クラス替えってどんな行事なんだろう」。4年生は2クラスですけども、ず</p>

	<p>っと単学級で育ってきた子どもたち。恐らく新校では1学年3学級ぐらいになるよという話はしてあるので、楽しみだけれども、ちょっと不安。でも、とてもいいことだと思うんですね。異なった環境でまた自分を磨くことができる。</p> <p>子どもたちは新校を楽しみにしつつ、でも、88周年の歴史を閉じるということもかなり意識してまして、最近、高学年は男の子も女の子も一緒に休み時間に遊ぶ姿が多く見られるようになりまして、それは今までになかったことかなと思います。やはり今のメンバーでの時間を大切にしていこうという意識なのかなと思います。</p> <p>あと3カ月半ですけれども、子どもたちには人とかかわる力を十分に、十二分につけて、新校で活躍できるように、私たち教職員一同頑張っただけのときを迎えさせたいなと思っています。どうもありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>私は3つあるんですけども、1つはまず楽しかったですね。4年半ですけれども、ここに来ていろんな方の意見を伺える。どうしても教員の側の考え方しか我々は持っていないので、地域の方がどういう考え方をしているのか、保護者の方はどうなのかというのが伺えて、それが学校の経営にも役に立つし、この先にも役に立つのだろうなと思いました。本当にありがとうございましたというのが1点です。</p> <p>2つ目は、会長として余計なことをいろいろ言ってしまったとか、わがままなことを言って事務局を困らせたりしてしまったことはおわび申し上げます。いろいろご協力いただきましてありがとうございました。</p> <p>3つ目は、こういう会は本当に大事なことで、さっきも申し上げたような意見がいろいろ伺える。それがいい地域をつくり、いい学校をつくる。井出教育長が言っていることなんだと思うんですね。その1つの縮図がこれなんだろうなと思うので、今度新しい学校になって、CSになったときにそれぞれの意見を反映できるような形をとって、よりよい学校をつくっていかねばと思っています。</p> <p>新しい学校の職員みんな、きっと一生懸命これを受けとめて頑張ってくれることと思いますので、陰ながら応援していきたいなと思っています。以上で終わります。</p> <p>それでは、最後に学校教育担当部長からお話があります。</p>
<p>学校教育担当部長</p>	<p>私、7月にこの職についたものですから、一番短い期間、この懇談会に参加させていただきました。今までの記録を読み、皆さんが真摯に議論されて、いろんな意</p>

	<p>見を取りまとめてきたということは、部長になってから感じました。</p> <p>さっき会長からもありましたけれども、今回をもちましてこの設置懇談会を閉じることになりました。これまで第 28 回にわたりまして、皆様から貴重なご意見やご議論をいただき、本当にありがとうございました。心からお礼を申し上げます。</p> <p>先ほどからお話が出ていますけれども、この懇談会は平成 22 年の 7 月に第 1 回ということで、4 年半の長きにわたってご検討いただきました。教育委員会としては、皆様からいろんなご意見をいただき、また、ご議論の結果を受け、それらを尊重しながら、この地域の子どもたちにとって望ましい教育環境の整備を進めていこうということで努力してまいりました。校舎の設計、工事、そういったものも進めてまいりました。</p> <p>いよいよ来年 4 月、区内で初となる小中一貫教育校の杉並和泉学園が開校するというのでございます。学校のほうも開校に向けて最後の準備に入っていて、教育委員会としてもまだ来年度、外構・環境整備の工事も残ってございます。そういったことで、学校と一緒に施設の整備をさらに進めてまいりたいと考えてございます。これからも杉並和泉学園が地域に開かれたよりよい学校となるよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>これまで本当にありがとうございました。</p>
会長	<p>それでは、これをもちまして設置懇談会を閉会いたします。どうもありがとうございました。(拍手)</p>